

チェックシート活用による スムーズな住み替えを目指して

～住み替えの根拠となる判断基準の明確化を図る～

スミリンケアライフ株式会社
エレガーノ甲南
村山由美 中原ちの

介護付有料老人ホーム エレガーノ甲南

運営：スミリンケアライフ株式会社

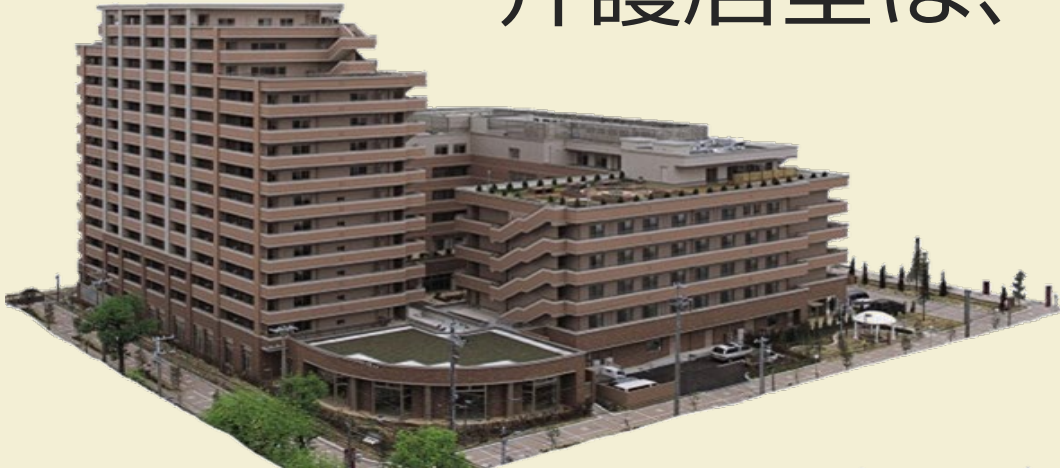
ホーム設立：2006年6月14日（現在18年目）

一般居室105名 介護居室101名

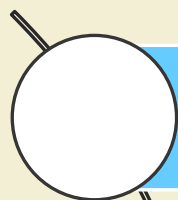
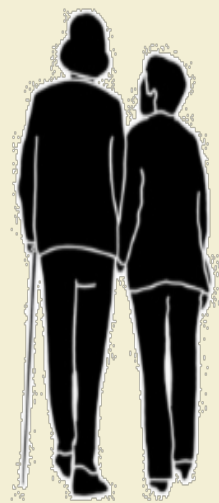
- ・入居者数：男性45名 女性152名 合計197名
- ・平均年齢：男性86.3歳 女性87.7歳

（2024年6月末現在）

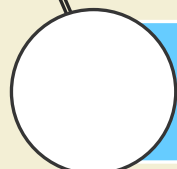
- ・一般居室は、自立もしくは要支援の方
- ・介護居室は、介護が必要な方



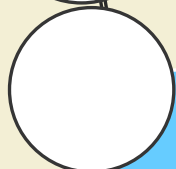
はじめに



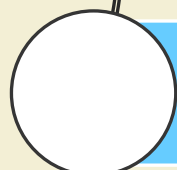
平均寿命を超える方が多数入居



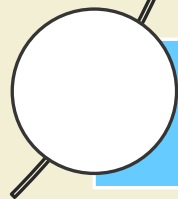
4 割が介護保険を利用し生活



認知機能低下、社会的役割変化



人との交流が減少、運動機会減少



生きがいを喪失

一般居室の生活継続が困難な入居者

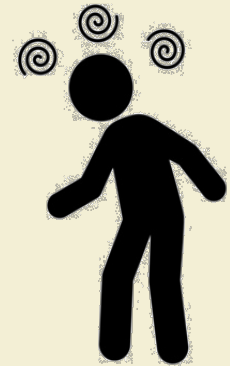
介護居室へ住み替えを提案

車椅子の生活になるのではないかと不安

住み替え費用の心配

自由がない

心理的・物理的ストレス



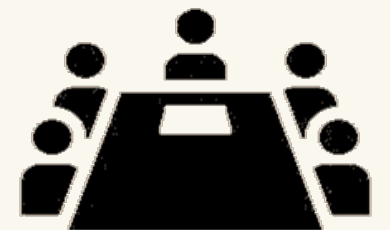
住み替えに消極的・住み替えに時間を要する

毎月生活支援会（多職種カンファレンス）開催

介護居室への住み替えを提案

- スタッフ側の判断基準が異なる
- 家族の理解を得るための指標がない
- 住み替えに時間を要する現状

➡ 認知機能やADLの低下を招く大きな要因となっている



チェックシートの活用



多職種カンファ
レンス

住替えの根拠して提示

スタッフ間の共通認識

スムーズな
住み替え

チェックシート活用

研究方法

1.研究期間：2023年10月～12月

2.方法：

○エレガーノ甲南独自のチェックシートの作成

○チェックシート有効性の検証

一般棟からケア棟に住み替えた特定契約者

住み替え前後の様子聞き取り

記録をもとに評価・数値化



エレガーノ甲南独自のチェックシート

- 介護保険認定調査
- 住み替えに至った理由
- 動作や起居に関する項目
- 生活維持に必要な項目
- 認知機能に関する項目
- 社会生活を維持する能力・介助の状況

6項目を
参考に
作成

エレガーノ甲南独自のチェックシート

- 身体機能・起居動作
- 生活機能
- 認知機能（記憶・理解）
- 社会生活への適応
- 健康状態

5項目
315点
満点

倫理的配慮

- ・ 住み替えた入居者には口頭及び文書にて説明し、同意を得た。
- ・ 論文や発表の際には個人が特定できるような表現はしない。

チェックシートの集計結果

対象者	男性 2 名 女性 1 3 名 計 1 5 名
対象者年齢	8 4 ～ 9 6 歳
住み替え時年齢	平均 8 9 . 2 7 歳
住み替えに至った年数	1 0 . 6 年
住み替えに至った理由	①認知症の悪化 ②疾病による体調不良 ③骨折

結果

	住替え前	住み替え後
A	2 0 5	1 2 0
B	1 6 5	1 2 5
C	1 7 5	1 6 0
D	1 6 0	1 8 0
E	1 5 5	1 5 0
F	2 1 0	1 6 5
G	9 5	1 5 0
H	1 5 0	8 5

	住替え前	住み替え後
I	1 2 0	1 5 5
J	2 1 0	1 3 5
K	1 2 0	1 3 5
L	1 9 0	1 8 5
M	2 0 5	1 2 5
N	1 9 0	1 5 0
O	1 4 0	1 6 0

住み替え前 1 6 5 点
住み替え後 1 5 0 点

チェックシートの集計結果

身体機能・起居動作	転倒回数が減少 →中央値5点から10点に改善
生活機能	食事場所・誘導が改善 →中央値0点から5点に改善
認知機能	全ての項目変化なし
社会生活への適応	全ての項目変化なし
健康状態	全ての項目変化なし

考察

身体機能・起居動作	転倒回数が減少 →センサー類等使用・見守り
生活機能	食事場所・誘導が改善 →自身で移動できるようになった
認知機能	一人で過ごすより安心している 物盗られが聞かれなくなった
社会生活への適応	住み替え時点で内服管理等出来ない
健康状態	食事・飲水量の管理

終わりに

住み替え

住替えても大きな変化なく
生活維持チェックシート

一時介護

家族・本人へ
住み替えを提案
チェックシート



入居

入居時の評価
チェックシート



生活支援会での
一時介護評価
チェックシート

認知症の悪化、
疾病による体調
不良、骨折

ACPに基づく医療・介護に関する意向確認（本人・家族・スタッフ）

今後の課題

生活支援会や一時介護評価時にチェックシートを使用していくシステム

ACPについて入居者・家族・支援スタッフで話し合いを行えるシステム



今後の課題

大切にしている事

どのような生活をしたいか

どのような治療を受けたいか

ACP
人生会議

どのような最期を迎えたいか

定期的な見直しが必要

ご清聴
ありがとうございました。

